

日ト発第116402号

平成26年 8月 8日

会員各位

一般社団法人日本トンネル技術協会
事業委員長 桑原 彌介

公印略

有楽町線小竹向原・千川間連絡線設置
シールドトンネル工区現場研修会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さて、このたび 東京地下鉄（株）をはじめ関係各位のご協力により下記のとおり現場研修会を開催することといたしました。有楽町線小竹向原から千川駅間は、練馬方面（西武有楽町線）または和光市方面（有楽町線）から、新木場方面（有楽町線）、渋谷方面（副都心線）それぞれに向かう列車が地下トンネル内で平面交差する複雑な構造となっており、立体交差による輸送の安定化が望まれていました。現在、新たに連絡線を新設し、地下トンネル内を立体交差化することで、遅延発生の縮小、輸送障害時におけるダイヤの早期回復等、輸送の安定化を図るための工事が展開されています。

本研修会では、シールドトンネル工区土木工事を対象としており、必要断面を効率的に施工するため縦長形状の複合円形断面のシールド機による施工等についての課題や留意点を習得する大変有益な機会であると存じますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、本研修会は(社)土木学会のCPDプログラムに認定（認定番号JSCE14-0393、単位2.0）されているほか、土木学会トンネル工学委員会後援事業でもありますことを申し添えます。 敬具

記

1. とき：平成26年9月29日(月)

2. 工事名

工事名	有楽町線小竹向原・千川間連絡線設置工事 シールドトンネル工区土木工事
発注者	東京地下鉄株式会社
施工者	熊谷・佐藤・大日本土木JV
施工法	シールド工法
工法概要	本工事は、有楽町線小竹向原から千川駅間に有楽町線の連絡線（410m）を設置することで、有楽町と副都心線の平面交差を解消します。 これにより、列車通過待ちが無くなると伴に列車本数の増加対応を可能とし、輸送の安定と利便性の向上が図れます。
工法概要	泥土圧シールド（複合円形断面） シールド機 6.80×5.70m セグメント 6.60×5.50m 延長 A線 175m B線 145m （A線：施工済み）

3. 定員：30名
4. 参加費：個人会員2,000円、団体会員2,500円、一般3,000円
5. 行程：14：50 有楽町線向原シールド作業所（最寄駅有楽町線千川駅/別紙案内図参照）
 15：00 工事概況説明
 15：30 現場見学
 16：30 質疑応答
 17：00 同所解散
6. 申込方法：下記申込書ご利用のうえ参加者氏名、年齢、所属、電話番号を当協会宛
 FAX(03-5148-3655)をもってお申込下さい。受付番号をお知らせします。
7. 支払方法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入のうえ
 下記へお振込願います。現金書留でも結構です。
 郵便振替口座00160-7-196331 一般社団法人日本トンネル技術協会
8. その他：
- ①ヘルメットは現場にて貸与して頂きますが、作業着・長靴は準備しておりませんので**汚れてもよい服装でご参加願います。**
- ②参加費の払戻しはいたしかねますが、代理参加は差し支えありません。
- ③下記申し込みに係る個人情報につきましては他に利用するものではありません。
- ④土木学会のCPD単位数はCPDS継続教育プログラムへの登録が可能です。詳細はCPDS運営先に問い合わせ願います。
- ⑤問合せ先は、一般社団法人日本トンネル技術協会 TEL03-3524-1755 催物係りまで。

東京地下鉄有楽町線小竹向原・千川間シールドトンネル現場研修会

ふりがな 参加者氏名：	年齢：	
TEL： — —		
会社名：		
所属役職：		
会員種別	<input type="checkbox"/> 個人会員、 <input type="checkbox"/> 団体会員、 <input type="checkbox"/> 非会員（一般） 該当箇所■にして	

熊谷・佐藤・大日本土木建設工事共同企業体
有楽町線向原シールド作業所

〒173-0036
板橋区向原2-8-5 ヴィラージュ千川102号室
TEL 03-5964-6695
FAX 03-5966-4446

有楽町線・副都心線 千川駅 1番出口
都道441を環七方面へ、要町三丁目信号のひとつ先の信号を左折
徒歩7分

